

千葉大学校友会 SNS「Curio」の構築

Construction of 'Curio', SNS for Alumni Association, Chiba University

大塚成男*1 檜垣泰彦*1 桜井貴文*1 市川智一*2 吉野貴之*3
Shigeo Otsuka*1 Yasuhiko Higaki*1 Takafumi Sakurai*1 Tomokazu Ichikawa*2 Takayuki Yoshino*3

*1 千葉大学 *2 千葉大学校友会事務局 *3 NPO 法人 TRYWARP
*1 Chiba University *2 Alumni Association, Chiba University *3 NPO. TRYWARP

1. はじめに

千葉大学校友会 SNS「Curio」は 2007 年 1 月に仮運用を開始し、その結果を受けて運営体制・システムの変更を行った後、同年 10 月に正式運用を開始した。「千葉大学校友会」とは9つの学部同窓会を横にまとめ、千葉大学と同窓生との情報交換や連携協力を緊密にするための組織である。Curio はこの千葉大学校友会の事業として維持・運営されている。

Curio の目的は、地理的制約のないインターネットの上に全国各地(あるいは全世界)で活躍している千葉大学の卒業生・在籍経験者(千葉大 OB・OG)が相互に交流できる場を設け、「千葉大学」を連結環とする人的ネットワーク(千葉大コミュニティ)を形作っていくことにある。また在校生にとっては Curio を通じて、豊富な知識や経験を持つ OB・OG から、就職や学習・研究について様々な面で有益なアドバイスを得ることができる重要な情報源となることを目指す。

2. 基本方針

Curio は、営利を目的とせずに千葉大学校友会が実施する事業であり、この点で様々な商用 SNS と質的な違いがある。利用者が拡大しなければビジネスとして成立しない商用 SNS とは異なり、Curio では利用者を増加させることを第一の目的とした運営は行なわない。まず参加者が安心して情報の交換を行うことができる環境を整え、その中で漸進的に参加者の拡大を図っていく。商用 SNS では実現することが困難になっているコミュニケーションの手段を提供することが、あえて千葉大学校友会が SNS「Curio」を構築・運営する理由である。

Curio の中では千葉大学在籍時の氏名(実名)で情報交換を行うものとする。千葉大学という共通項をもつ参加者による人的ネットワークを作り上げるうえで、名前こそが最も有効な鍵になると考えている。

3. 仮運用

半年の仮運用期間は校友会事務局が4名体制で Curio の実務作業にあたった。仮運用の結果、いくつかの問題点が判明した。仮運用での参加者 152 名の多くは学生(在校生)であり、実名表示の運用に対する強い拒否反応がみられた。質問・要望のためのコミュニティでは主張の強いユーザの声のみが目立ち、そのほかのユーザの積極的な参加を阻害する傾向が見られた。ネットを使い慣れた学生と年輩を含む卒業生とのネットに対する“文化”の違いが顕著化する結果となった。

4. 設計・実装

基本方針に基づき、実名公表を必須とした。悪意をもった部外者が Curio の中に入り込むことを防止し、安心して実名参加できる環境を実現するため、申し込み時には本人確認書類提出を求めることとした。

仮運用の経験をもとに、正式運用に向けて方針や設計の変更を行った。あくまでも卒業生を利用者の中心として位置付けるため、正会員(卒業生)と準会員(在校生)の区分を新設した。また、システム内のあらゆる活動の履歴を確認できるよう、ログ機能を強化した。SNS 運営に実績のある業者(TRYWARP)に日常的な業務を委託することにより、トラブルや不適切な行為に常時対応できる体制を整備した。質問・要望はメッセージによる 1 対 1 対応を基本とする方針に変更した。生年月日を非公開とできるよう選択機能を追加した。卒業生を中心とした SNS とするため、準会員には日記やコミュニティの活動に制限を設けた。

実装は OpenPNE (<http://www.openpne.jp/>) をベースとした。カスタマイズと独自機能の追加は TRYWARP があつた。

5. 運用

仮運用では「千葉大学 SNS」としていたが、正式運用では運用主体を明確にするため「千葉大学校友会 SNS」とした。また校友会が運営会社(TRYWARP)に運営委託する形とした。ユーザ登録は校友会での確認作業の後、運営会社で登録作業を行う。日常的な質問への対応、警告、システム管理や内容の監視も運営会社が行っている。正式運用開始直後は約 200 人であった利用登録者は 2008 年末時点では 1,382 人となり、そのうち 1,302 人(94%)が正会員である。

6. おわりに

卒業生の総数は約10万人であるなか、現状の登録者数は必ずしも多いとは言えない。商用 SNS ではない Curio では、ユーザの利用頻度をむやみに高める必要はない。ユーザと大学との交流を維持し、ユーザが相互に消息情報を交換する安定した手段として定着させることが目標となる。そのために、卒業生に消息の書込みを促す機能の充実と、卒業生と在校生の交流の活性化を図っていく。

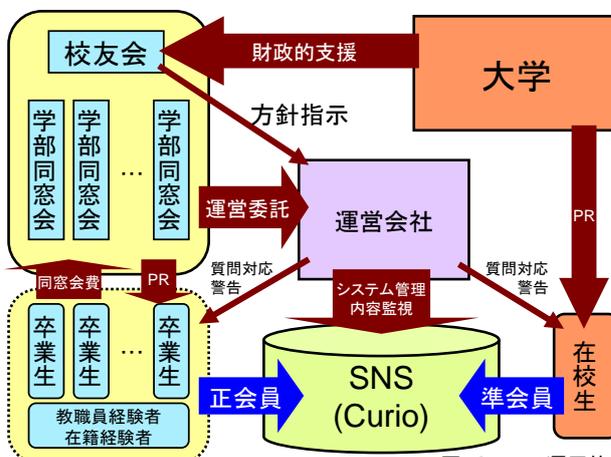


図 Curioの運用体制